



港南中だより

令和6年3月号

港区立港南中学校

2023年度は60周年



校長 佐々木 希久子

3年生の皆さん ご卒業おめでとうございます。

3月19日午前9時半より、卒業式を挙行政します。

今年度は平成30年度の卒業式以来、全学年の生徒が参列する形で行います。

来賓は港区長代理の港区副区長 野澤 靖弘様をはじめ、区議会議員、PTA 会長 港南中学校学校運営協議会委員、60周年祝う会準備委員会の方々をお呼びしております。

今年度の卒業生は130名です。A組、B組、C組、D組、E組のたくさんの生徒と一緒に3年間学んできました。天真爛漫で自分の気持ちに正直な、明るく、朗らかな人が多い、個性豊かなメンバーの揃った3学年です。素直で人に優しい素敵な生徒がほとんどです。コロナからアフターコロナの時期を経験して、一人一人常に前向きにポジティブな気持ちを持ち続けて過ごしてきました。復活する行事一つ一つに新たな目標をもって、新しい港南中学校の伝統を創り上げてきました。そんな卒業生の皆さんともお別れがやってきます。別れは、わたしたち教職員と生徒との間でもありますが、生徒と生徒との間にもあります。一人一人それぞれが自らの進路に向かって、一人で歩いていきます。

卒業生の皆さんには、ぜひ、港南中で共に学んだ仲間たちのことをずっと大切にしていいただければありがたいです。3月14日に同窓会の入会式を行いました。これから一人一人異なる環境で生きていく皆さんですが、いつかどこかで港南中の同窓生として出会ったときには、直ぐに旧交を温められるようなそんな素敵な別れをしてほしいと思います。

三年生の皆さん、元気に生きて、新しいステージで新しい友人をたくさんつくってほしいと思います。どうぞいつまでもお元気で。皆さんのますますのご多幸とご発展を心よりお祈り申し上げます。

来年度に向けて

令和6年度は4月8日に始業式を行います。4月からの学校生活も基本的な生活習慣をしっかりと守り、健康に留意して、他者に親切にしながら落ち着いて学校生活を過ごしていただきたいと考えています。

学校生活で最も大切なことは他者を思い遣る心です。これが最も根幹なことだと考えています。他者を思い遣る心を各自しっかりと磨いていくことが、集団生活の向上につながり、学習意欲の向上につながっていきます。自分のことを第一に考え、自分の気持ちや欲求を優先する行動を慎んでいく。その原動力は他者に対する配慮です。他者を思い遣る心、それを、自己を律する行動につなげていただきたいと考えます。

港南中学校では、来年度も引き続き、学年の全員の先生が全員の生徒の担任となって、生徒の皆さんとともに過ごしてまいります。生徒の皆さんにはいろいろな先生と仲良くしていただきたいと思うと同時に、気軽に相談できる先生を見つけてもらいたいと思っています。

一人でも多くの生徒が笑顔で学校生活を過ごせるよう、「通わせてよかった」と、保護者に笑顔で思ってもらえるよう、地域の方々から「あってよかった」学校だと笑顔で仰っていただけるよう、そんな学校を目指し、引き続き教職員一同しっかりと取り組んでまいります。

どうぞ、来年度もよろしくお願い申し上げます。

